

未来をつくる。みんなで作る。

2022春季生活闘争ニュース



2022.1.27 第1号 発行責任者 連合北海道組織労働局

人への投資を！ 賃上げ4%程度を要求

—2022春季生活闘争が本格的にスタート—

賃上げによる消費喚起によって企業が活性化する経済の自律的成長をめざし、働くことを軸とする安心社会の実現に向けた2022春季生活闘争がいよいよ本格的にスタートする。

連合北海道は11月末に開催した第34回定期大会で2022春季生活闘争基本方針、12月の第81回地方委員会では同闘争方針を確認し杉山連合北海道会長を本部長とする闘争本部を立ち上げた。1月26日の第1回闘争委員会で2月末までの要求書提出(地場・中小は3月末まで)と回答引き出しに向けた交渉配置など当面の闘いの進め方をはじめとする「当面の取り組み(その1)」が確認された。

一方、連合本部は1月25日、経営者や労働団体らが参加して開催された「経団連労使フォーラム」で芳野会長が分配構造を転換し「人への投資」が必要なことなど2022春季生活闘争にあたっての連合の考え方を説明。翌26日には経団連と懇談会を開催し、労使交渉をめぐる諸課題について意見交換を行い、2022春季生活闘争が本格的にスタートした。

また、各産別中央本部においても具体的な闘争方針を確認するなど、体制整備を図っている他、連合北海道闘争本部も2月に産業部門別連絡会を開催し、要求内容や交渉日程をはじめとして情報共有を図ることとしている。さらに、3月4日には道内経営者団体との意見交換会、北海道労働局(3/3)や北海道(2/22)へ賃金と労働条件改善に関する要請を行う。3月8日には全道総決起集会を札幌市共済ホールで開催する予定。

各地協でも地域討論集会在順次開催(書面・web含む)される。この他、「社会的キャンペーン」を展開し、自治体、振興局、商工団体に賃金・労働条件改善、雇用対策の拡充などを要請する。

2022春季生活闘争は産業によって依然厳しい状況におかれているところもあるとはいえ、GDPは回復途上にあり、昨年とは大きく状況が異なっている。労働組合がしっかりと「人への投資」を求めていく、自らの企業の状況や雇用・労働のあり方について現状を認識し、その上で将来を見据え何をすべきか、今何ができるか、中期的な視点を持って取り組む「未来づくり春闘」としよう。そして、その成果をコロナ禍で影響を大きく受けている短時間・派遣等で働く多様な仲間や、労働組合のない職場で働く仲間にも波及させなければならない。産別、地協・地区連合一体となって、みんなでもともに闘おう！

●各地協の討論集会日程(1/27現在) ※感染状況によっては開催形式の変更あり

地域	日程	開催地	開催形式	地域	日程	開催地	開催形式
石狩	1月28日	札幌市	ハイブリッド	宗谷	2月5日	稚内市	web
渡島	1月29日	函館市	ハイブリッド(時短)	網走	2月5日	—	書面
檜山	1月27日	江差町	対面	胆振	2月5日	—	書面
後志	2月19日	小樽市	対面	日高	1月29日	—	書面
空知	2月5日	—	書面	十勝	2月5日	帯広市	対面(時短)
上川	2月5日	旭川市	ハイブリッド	釧根	2月5日	釧路市	対面
留萌	2月5日	—	書面				

2022春季生活闘争・参議院議員選挙闘争勝利！

3.8 全道総決起集会

■日 時/2022年3月8日(火)18時～

■場 所/共済ホール[札幌市中央区北4西1]

※「全道総決起集会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じて開催予定ですが、感染状況によっては開催形式の変更も見込まれます。あらかじめご了承下さい。